

議 事 録

会議名	山梨がんピアサポート希望の会 第105回定例会
日時	2020年10月25日 10:00~12:00
場所	山梨大学医学部管理棟2階中会議室およびZoom
参加者 イニシャル	K.M N.M H.K A.H M.M N.H H.K H.R M.H W.N (計10) オブザーバー：佐藤弥教授

議 題	1、近況報告 2、第14回山梨がんフォーラムでのゲノム医療について 3、ピアサポートにおける医療分野への踏み込み（ロールプレー形式） 4、各自一言と佐藤教授からのコメント
-----	--

議事内容	
1. について	<p>コロナ禍ではあるが、感染に注意しつつそれぞれに生活を楽しむことを始めていることなどの報告があった。また、現状での電話によるピアサポートが二カ所で行われていることの確認を行った。</p>
2. について	<p>10月4日にハイブリッドで開催した「第14回山梨がんフォーラム」のテーマ「がんゲノム医療」について、参加者から短く感想を共有した。ゲノム医療の基礎については、あらためて勉強会開催の希望があった。</p>
3. について	<p>前回からのテーマであった「ピアサポートにおける医療への踏み込み」について、ロールプレー形式で治療に関する相談を受けるときの会話を実践した。</p> <p>提案していた内容は以下の通り。</p> <p>〈相談例〉</p> <p>相談者：主治医に〇〇の治療を勧められて受けています。でも、ちょっと辛いのです。もっと良い治療が無いでしょうか。このままでも大丈夫でしょうか。戸惑っています。</p> <p><u>サポーター：⇒この部分を考えてください</u></p> <p>相談者：では、私は具体的にどうすれば良いのでしょうか。</p> <p>サポーター：混乱しますよね・・・。</p> <p>私たちの話が参考になるようでしたら、あらためて主治医に時間を取っていただけたらいいかと思いますが。納得して治療に臨みたいですね。</p> <p>それぞれが体験を踏まえ、適宜対応できた。画面での『拍手』で共有した。</p>

メンバーからは、電話相談での勉強会を開催したいとの要望があった。

4、について

1ヶ月ぶりのミーティングは、それぞれが学びになったとのコメントあり。

佐藤教授からは、「ピアサポーターは、がんを体験していることに大きな意義がある。この体験知は、医療者は持ちあわせていない。医療で補えない部分をピアサポーターは補っている。医療者ができることと、体験者でないとできないことが、バランス良く役割分担できる治療・療養環境であることを望んでいる。

また、「医療者は、患者が満足することを念頭に治療しているので、混乱したり、わからないことがあったら、怖がらずに医療者に聞いてみると良い」とのアドバイスをいただいた。

Zoom の操作になかなか慣れないが、練習の意味も込めて「チャット」機能や「反応」機能および「画面共有」などを使用した。今後さらなるオンライン化が進んでいくので、オンライン定例会、オンラインピアサポート活動を視野に入れた準備を行うことが必要。

定例会 次回予定	第 106 回定例会 2020 年 11 月 29 日（日） 10：00 ～山梨大学医学部管理棟 2 階中会議室&Zoom テーマは、電話で実施しているピアサポートの事例検討
-------------	---

司会：興水副代表 文責：わかお